

# 2025年度地球環境科学部 学生研究プロジェクト

4月下旬より  
応募開始（予定）

## 学生の自主的な研究活動を 応援します！

地球環境科学部の学生がグループで行うフィールドワークに基づいた研究に研究費を助成します（**最大20万円**）。採択されたグループ数や必要経費に応じて配分します。

### \* 2025年度日程（予定）

- 4月下旬～6月中旬：応募期間
- 5月下旬：説明会
- 6月中旬：1次審査（書類選考）
- 6月下旬：2次審査  
（プレゼンテーション；公開）
- 7月上旬：採択グループ説明会
- 7月～2月：調査期間
- 2月初旬：成果発表（卒論発表会にて）
- 2月末：研究報告書提出

- ✓ 2名以上のグループで申請してください
- ✓ 研究代表者およびグループメンバーは、地球環境科学部の学生に限ります

応募方法など詳細は、募集開始時（4月下旬を予定）にポータルサイト、ポスター掲示、学部ホームページにてお知らせします。

### \* 過去の採択研究テーマ

<2015年度>

- ・ 水稻と麦の二毛作地域における生物多様性の特徴
- ・ 地図を用いた移動の際に人が参考にする地理情報について

<2016年度>

- ・ 人が植物の分布拡大に与える影響
- ・ 観光資源に対する地元住民と観光客との評価の差異—山形県を事例として—
- ・ 埼玉県に生息するヤリタナゴの地域固有性は保たれているか？

<2017年度>

- ・ 建造物が与えるスズメへの影響—熊谷市内調査からの考察—
- ・ MOMOTARO ～現在の周辺環境からさぐるゆらいの地の検証～
- ・ 福島県南会津郡只見町における観光ワラビ園の成立と活用

<2018年度>

- ・ 観光地における名産品PR—ご当地ソフトクリームを事例として—
- ・ 秩父地域におけるセメント関連産業に関する観光資源化の検討
- ・ 山梨県甲州市勝沼におけるブドウ園とワイナリーの関係性
- ・ 鳩間島と西表島における星砂と太陽の砂の分布について

<2019年度>

- ・ 小笠原諸島の母島に生息する海生貝類の分布 ～人工海浜と自然海浜を比較して～

<2021年度>

- ・ 「ぶらっと湧水巡り」～人の生活と水の関わり～
- ・ 夢京橋キャスルロードが地域に及ぼした影響

<2022年度>

- ・ 温暖化によるクマゼミの国盗り合戦～最前線の熊谷市と松本市～
- ・ 伊豆諸島におけるコーガ石の分布及びその希少性の調査
- ・ 伝統的宗教共同体の分布に関する地理学的研究 川崎市宮前区における御嶽講の活動を事例に
- ・ 東京都青ヶ島村における食料品入手方法からみた島内外の結びつきの変容

<2023年度>

- ・ 害虫調査隊が行く。埼玉県内の新害虫 *Shingapora shinshana* の分布！

<2024年度>

- ・ 令和から見た寛政期の景色～伊能図（第一期測量）古河宿から宇都宮宿を歩く
- ・ AIとスマートフォンを活用した3Dモデル生成技術による低コスト地学・環境教育向けバーチャル教材の開発・評価・応用